

食からはじめる、いい未来。



株式会社 久世

# 2026年3月期 決算説明会

2026年5月

代表取締役社長 久世真也

## 外部環境

### 日本経済

- 企業業績の堅調な推移
- 個人消費の緩やかな上昇
- 円安の継続
- 金利の上昇

### 外食・中食

- 過去最多の訪日外国人旅行者数
- 法人需要の活性化
- あらゆるコストの上昇
- 慢性的な人手不足

## 連結決算概要

- 外食・中食市場の好調、新規開拓、価格の適正化等により、売上高は700億円台に到達。
- PB商品・JFSA商品の販売強化や原材料の購買見直し等により粗利率上昇。
- 営業利益率は目標の2%を達成。

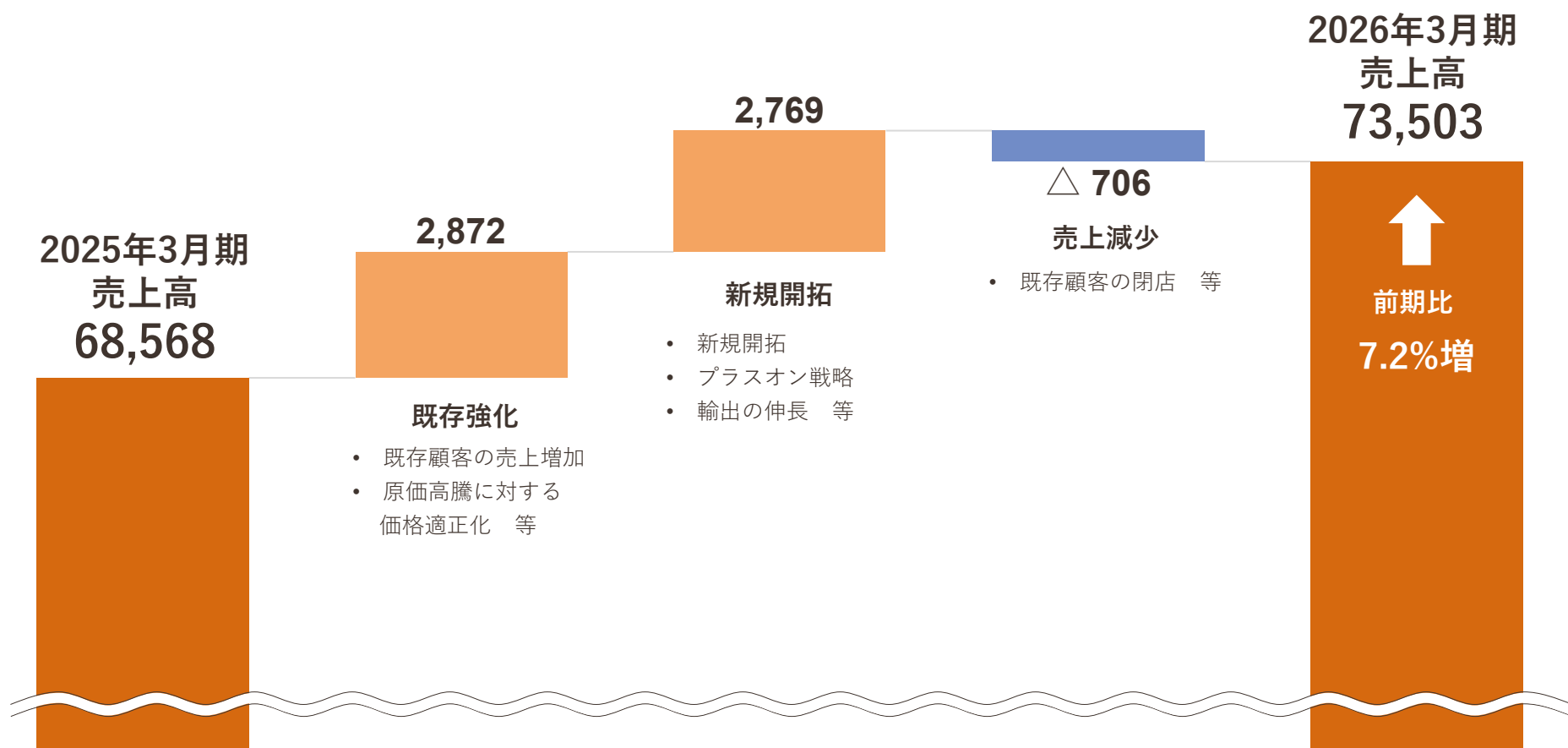
(単位：百万円)

	2025年3月期		2026年3月期		増減額	増減率
	実績	構成比	実績	構成比		
売上高	68,568	100%	<b>73,503</b>	<b>100%</b>	4,935	7.2%
売上総利益	15,723	22.9%	<b>17,352</b>	<b>23.6%</b>	1,629	10.4%
販売費及び一般管理費	13,876	20.2%	<b>15,153</b>	<b>20.6%</b>	1,277	9.2%
営業利益	1,847	2.7%	<b>2,199</b>	<b>3.0%</b>	352	19.1%
経常利益	2,191	3.2%	<b>2,351</b>	<b>3.2%</b>	160	7.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,754	2.6%	<b>1,758</b>	<b>2.4%</b>	4	0.2%

## 売上高の増減要因（前期比）

- インバウンド消費が好調に推移し、法人需要も活性化したことが売上高増加に寄与。
- 既存のお客様との取り組み強化や新規開拓等により、売上高は前期比7.2%増加。

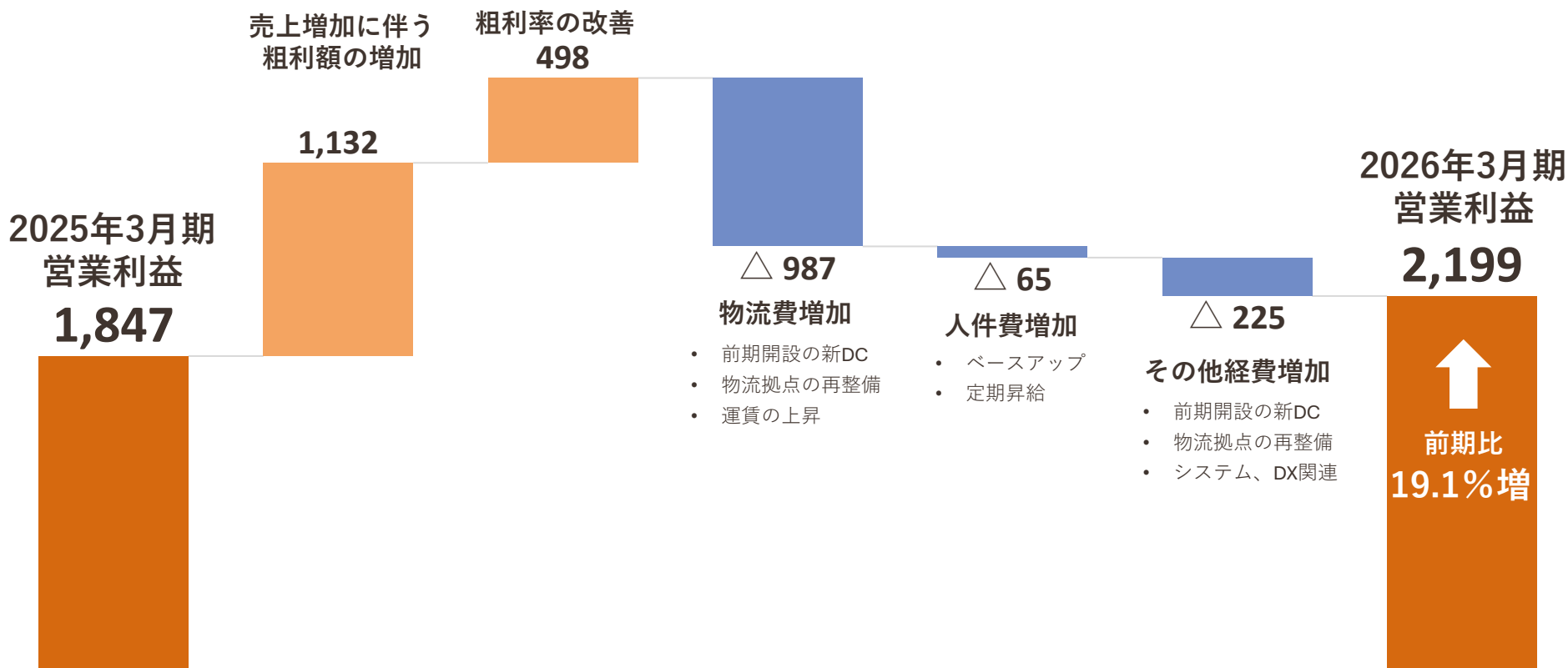
(単位：百万円)



## 営業利益の増減要因（前期比）

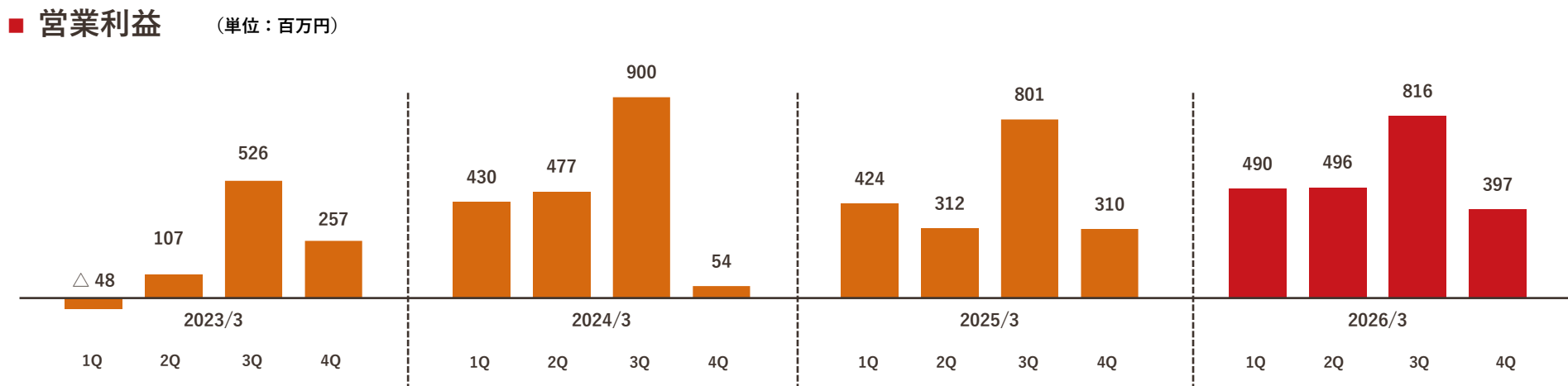
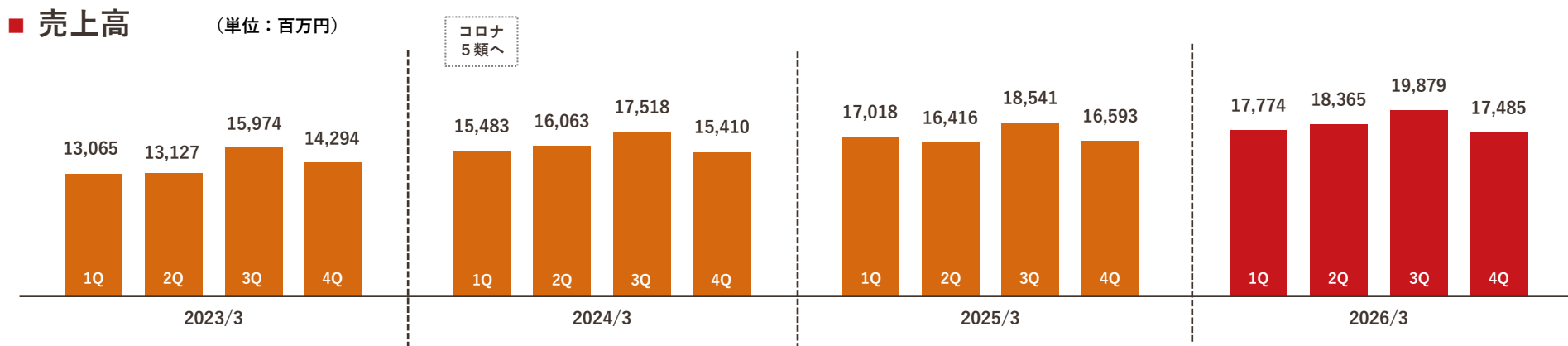
- 粗利額の増加は、売上増加により1,132百万円、粗利率改善により498百万円。
- 販管費は、物流費・人件費・その他経費共に増加。

（単位：百万円）



## 四半期別 売上・営業利益の推移

- 全四半期において前期比で増収増益を達成。



## 連結貸借対照表

- 純利益を1,758百万円計上し、自己資本比率は39.1%に向上。
- 将来の投資のため、財務体質の改善に向けた取り組みを継続。

(単位：百万円)

	2025年3月期	2026年3月期	増減率
<b>資産の部</b>	<b>22,969</b>	<b>24,722</b>	<b>7.6%</b>
流動資産	15,871	17,131	7.9%
固定資産	7,097	7,591	7.0%
<b>資産合計</b>	<b>22,969</b>	<b>24,722</b>	<b>7.6%</b>
<b>負債の部</b>	<b>15,049</b>	<b>15,057</b>	<b>0.1%</b>
流動負債	13,411	13,121	△2.2%
固定負債	1,637	1,935	18.2%
<b>純資産の部</b>	<b>7,919</b>	<b>9,665</b>	<b>22.0%</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>22,969</b>	<b>24,722</b>	<b>7.6%</b>

	2025年3月期	2026年3月期	増減
<b>自己資本比率</b>	<b>34.5%</b>	<b>39.1%</b>	<b>+ 4.6pt</b>

# 連結キャッシュフロー計算書

- 今後の投資計画に必要な資金を確保しつつ、物流や情報システムへの投資を実行。
- 引き続きキャッシュの効率的な創出に努めると共に、成長のための投資を実施予定。

## 営業活動CF

12億23百万円

(前年同期 6億64百万円)

## 投資活動CF

△6億6百万円

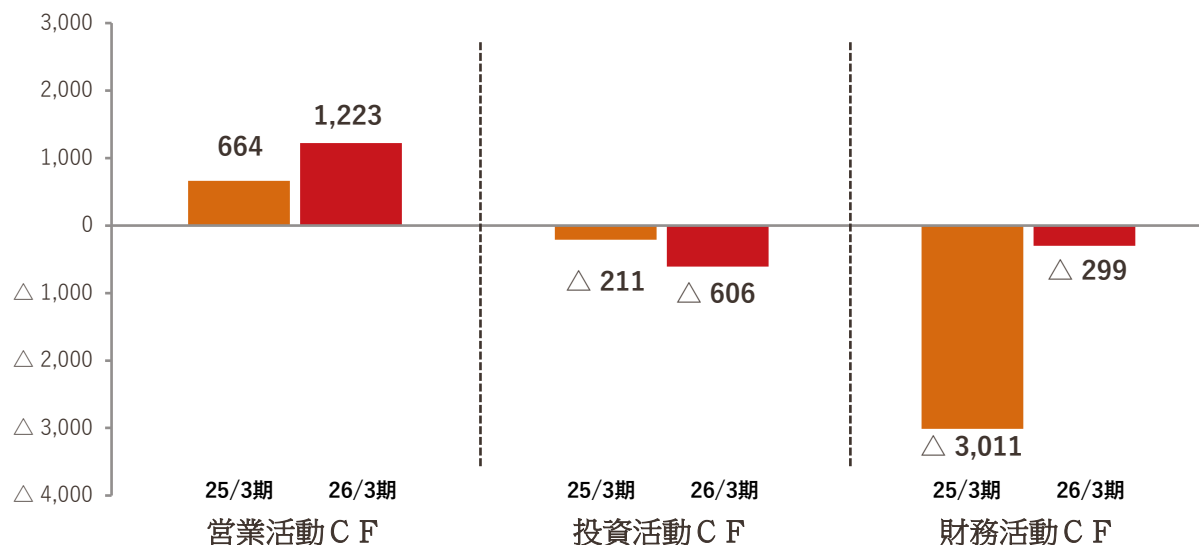
(前年同期 △2億11百万円)

## 財務活動CF

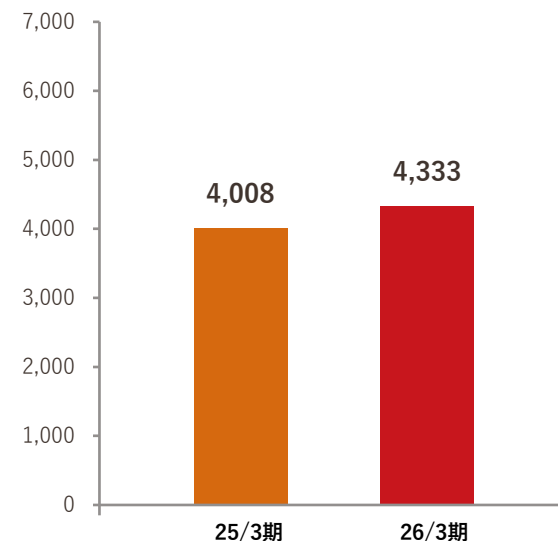
△2億99百万円

(前年同期 △30億11百万円)

(単位：百万円)



## 現金及び現金同等物の期末残高

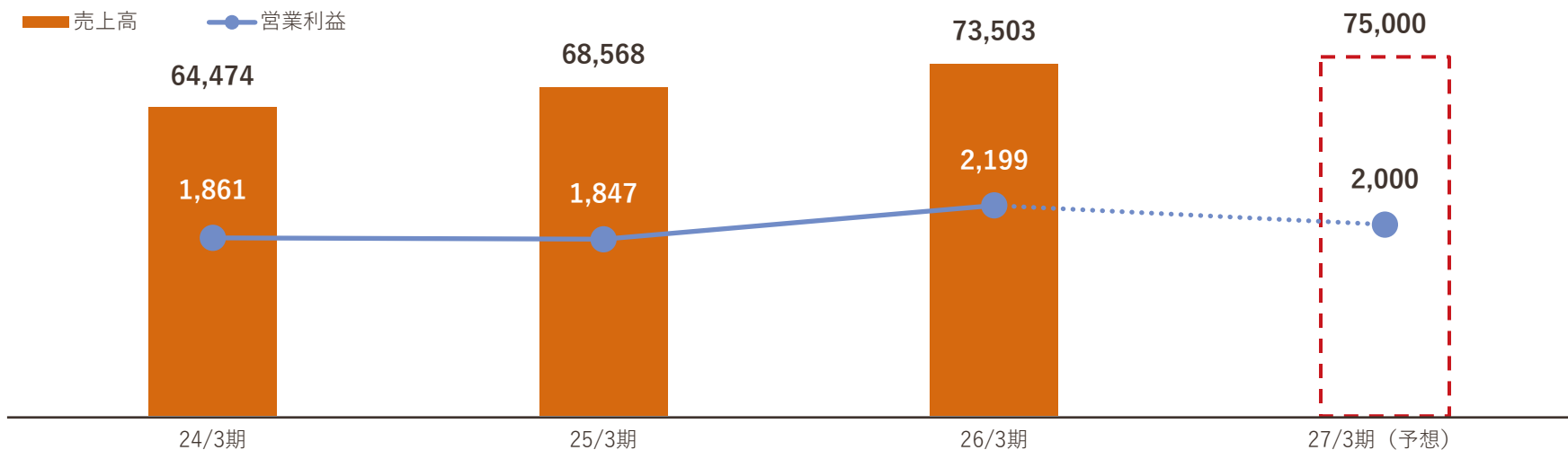


## 2027年3月期連結業績予想

- 物流拠点の再整備、人件費の確保、システムの整備等を勘案し減益予想。
- 将来を見据えて諸施策を推進し、中長期的な視点で業績の向上に尽力。

(単位：百万円)

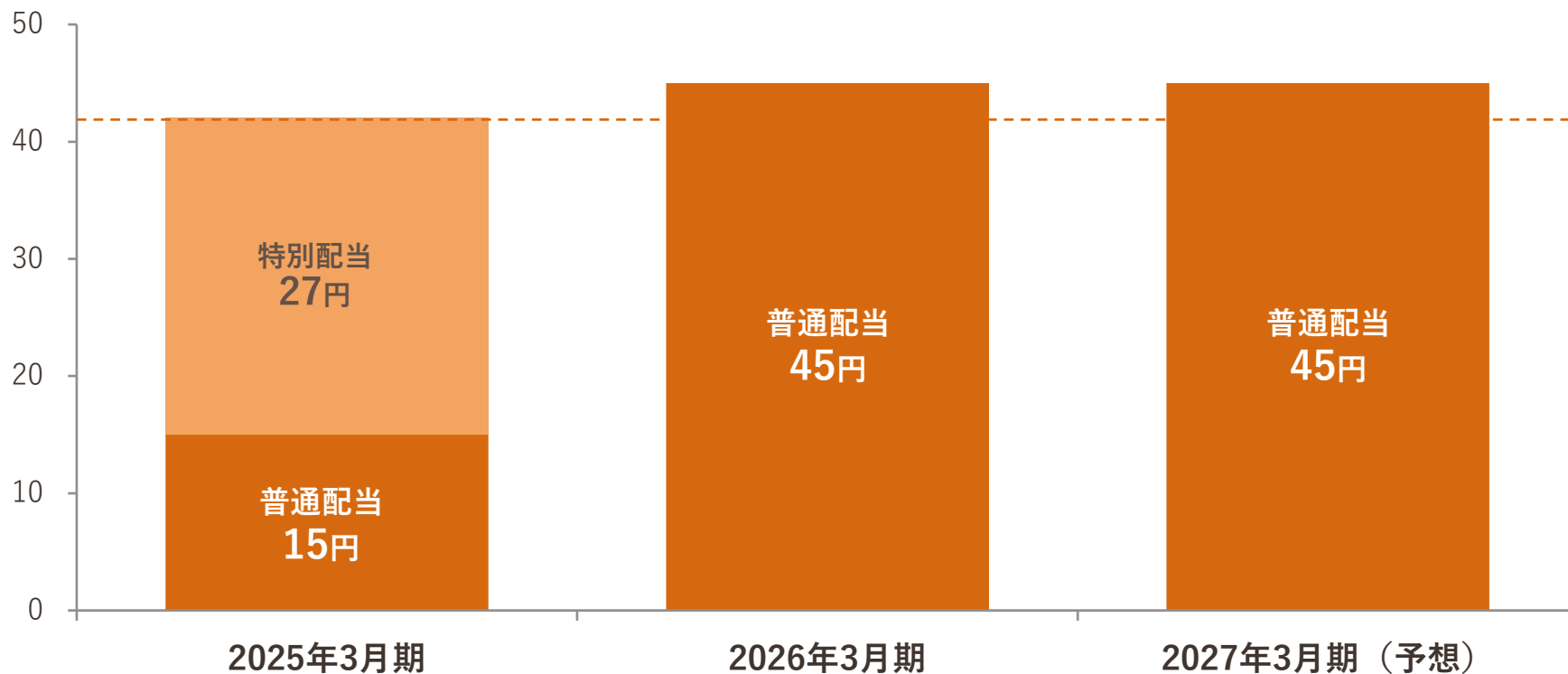
	2026年3月期		2027年3月期		増減額	増減率
	実績	構成比	予想	構成比		
売上高	73,503	100%	<b>75,000</b>	<b>100%</b>	1,497	2.0%
営業利益	2,199	3.0%	<b>2,000</b>	<b>2.7%</b>	△199	△9.1%
経常利益	2,351	3.2%	<b>2,100</b>	<b>2.8%</b>	△251	△10.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,758	2.4%	<b>1,400</b>	<b>1.9%</b>	△358	△20.4%



# 株主還元

- 増益により、2026年3月期の配当を45円に増配。
- 配当性向の目標は10～15%程度。2027年3月期の配当予想は45円。

## 配当金



中期経営計画第1フェーズ  
(2024年3月期～2026年3月期)  
総括

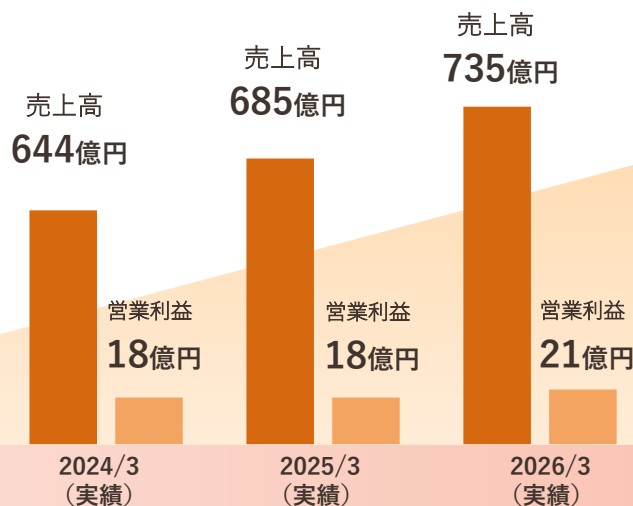
# 100周年に向けた長期ビジョン

## 長期経営テーマ

100周年の先を見据え、時代変化に対応した  
「持続可能で質的な成長」を果たす

2035年3月期

100周年



営業利益率  
2%以上

第2  
フェーズ

第3フェーズ

第4フェーズ

第1フェーズ

対応すべき  
取り組み

DX化 女性活躍 SDGs 参加型経営 社会貢献 次世代リーダー  
業務改善 仕組み化

予想される  
社会の変化

2024年問題 国際情勢 AI 災害 技術革新 人口減少  
経済変化 サステイナブルな社会 自動運転

100周年に向けた長期ビジョン

第1フェーズ

# 成長への再スタート 事業基盤の再構築

株式会社久世は2035年に100周年を迎えます。  
コロナ禍により、食に関わる業界は大きく変化しました。  
私たちも、食の役割を考え直すきっかけともなり、  
食が人にとって本質的に必要なものであると改めて認識しました。  
新たな取り組みとともに100周年を目指します。

# 第1フェーズの取り組み

## 1st PHASE

### 3つの基本施策

関東集中

資源集中し  
地域密着化

機能強化

KUZEX/  
低温物流の  
軸展開

プラスオン

JFSA、素材、  
酒飲料の提案

### 強化する市場

フード  
サービス

観光  
レジャー

中食惣菜

### 投資施策

人財

物流

情報  
システム

### 未来を創る5つの施策

EC  
事業

DX化  
推進

商品  
開発

海外  
事業

グループ  
シナジー

## NEXT PHASE

# 第1フェーズの主要施策の総括

## 数値目標（連結）

- 2026年3月期に売上高735億円、営業利益21億円、営業利益率3.0%を達成  
(2023年5月発表当初計画 売上高660億円、営業利益13億円、営業利益率2.0%以上)

## 3つの基本施策

- 関東の売上比率を向上
- PBの売上比率を向上
- 2025年10月に千葉県の斎藤商業をグループ化 ほか

## 強化する市場

- フードサービスの売上を拡大しつつ、観光レジャーと中食惣菜の売上比率を向上

## 投資施策

- 継続的に待遇改善や環境改善を実施
- 新物流センターを開設するなど物流拠点再整備を実施 ほか

## 未来を創る5つの施策

- KUZEXの利用拡大を推進
- 2025年11月に自社ECサイト「プロデポ」を正式オープン ほか

# ご清聴ありがとうございました

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成及び将来の業績を保証するものではありません。また、これらの情報が今後予告無しに変更されることがあります。従いまして、本情報及び資料の利用は他の方法により入手された情報とも照合確認し、使用者の判断によって行って下さいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

お問い合わせ先

株式会社久世  
経営戦略推進室

〒170-0013 東京都豊島区東池袋2-34-13

T E L : 03-3987-0240 F A X : 03-3971-3199

E - m a i l : [ir-hp@kuze.co.jp](mailto:ir-hp@kuze.co.jp)

【H P】 <https://www.kuze.co.jp/>